

表4-4 教職に関する科目（数学・理科）※

区分	科目名	必要単位数		開講学年・クォーター								ラーニング ログ*	備考		
		中学一 種	高校一 種	1年		2年		3年		4年					
				前	後	前	後	前	後	前	後				
「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち教科の指導法に関する科目	数学科教育法1	[2]	[2]			○							◎	対象教科「数学」	
	数学科教育法2	[2]	[2]				○						◎		
	数学科教育法3	[2]						○					◎		
	数学科教育法4	[2]							○				◎		
「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち理科の指導法に関する科目	理科教育法1	[2]	[2]			○							◎	対象教科「理科」	
	理科教育法2	[2]	[2]				○						◎		
	理科教育法3	[2]						○					◎		
	理科教育法4	[2]							○				◎		
教育の基礎的理解に関する科目	教職基礎論	2	2		○								◎		
	教育原論	2	2				○						◎		
	教育制度論	2	2			○							◎		
	発達と学習	2	2			○							◎		
	特別支援教育の基礎・基本	2	2						○				◎		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な学習の時間の指導法	1	1					○					◎		
	教育の課程と方法	2	2					○					◎		
	教育相談論	2	2					○					◎		
	道徳教育指導論	2						○					◎		
	教育とICT活用	1	1					○					◎		
	特別活動論	1	1						○				◎		
	生徒指導・進路指導論	2	2						○				◎		
教育実践に関する科目	教育実習事前・事後指導	1	1							○	○				
	教育実習1	4	2								○		*1,*2	中学校(4単位)	
	教育実習2											○		高等学校(4単位)	
	教育実習3													○	中学校(2単位)
	教育実習4													○	高等学校(2単位)
	教職実践演習(中・高)	2	2								○		*3		
必要単位数の合計		36	28												

※ 「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「各教科（数学・理科）の指導法」を「教職に関する科目」としてまとめて記載しています。「教職に関する科目」の履修では、「教職履修ガイダンス」に出席していることが条件となります。

- *1. 教育実習を履修するためには、次の条件を満たす必要があります。
 - ・履修の前年度までに「教職に関する科目」を12単位以上修得している。
 - ・「教育実習事前指導」を受講している。
 - ・4年次終了時に学位（学士）を取得する見込みで、卒業時に教員免許の取得が可能である。
- *2. 教育実習は、原則として各自の出身高等学校または出身中学校において行ってください。
 「教育実習1」「教育実習2」は4単位、「教育実習3」「教育実習4」は2単位です。
 中一種免の授与を受ける場合、4単位以上選択必修。高一種免の授与を受ける場合、2単位以上選択必修。
 ※ただし、中一種免・高一種免両方の授与を受ける場合は、中学校・高等学校、両方の学校種で教育実習を行うことを推奨します。
- *3. 教職実践演習の履修条件については、p.64の「教職実践演習」の説明を参照してください。
- *4. 科目表から開講時期が変更になる場合や集中開講に変更となる場合があります。
- *5. 修得した◎の科目すべてについてのラーニング・ログと教育実習・介護等体験についてのブラクティス・ログを作成する必要があります。
- *6. 修得した表4-4の科目の単位は、「キャリア科目」として一部を卒業要件に含めることができます。（キャリア科目の合計で10単位まで）

表4-5A 数学の教科に関する科目

中一種免取得の場合は、表4-2「教科及び教科の指導法に関する科目」28単位として、表4-4「教科の指導法に関する科目」8単位、表4-5A「数学の教科に関する科目」20単位以上を修得する必要があります。加えて、表4-2「大学が独自に設定する科目」3単位として、表4-5A「数学の教科に関する科目」3単位以上修得する必要があります。そのため、表4-5A「数学の教科に関する科目」から合計23単位以上修得する必要があります。

高一種免取得の場合は、表4-2「教科及び教科の指導法に関する科目」24単位として、表4-4「教科の指導法に関する科目」4単位、表4-5A「数学の教科に関する科目」20単位以上を修得する必要があります。加えて、表4-2「大学が独自に設定する科目」11単位として、表4-4「教職に関する科目」及び表4-5A「数学の教科に関する科目」の修得が必要な単位数を超えて修得した単位を充てるので注意してください。

区分	科目名	単位数	開講学年・クォーター								中一種	高一種	科目コード	ラーニングログ*
			1年		2年		3年		4年					
			前	後	前	後	前	後	前	後				
代数学	代数学Ⅰ	4			△						○	○	ScS2D-5MAI014	○
	代数学Ⅱ	4			△					○	○	ScS2D-5MAI024	○	
	代数学Ⅲ	4					△					ScS3D-5MAI034		
	代数学Ⅳ	2					△					ScS3D-5MAI042		
幾何学	幾何学Ⅰ	4			△					○	○	ScS2D-5MTG024	○	
	幾何学Ⅱ	2				△						ScS3D-5MTG042		
	集合と位相Ⅱ	4			△					○	○	ScS2D-5MTG014	○	
	位相数学Ⅰ	2					△					ScS3D-5MTG032		
解析学	位相数学Ⅱ	2					△					ScS3D-5MTG052		
	解析学の基礎	3			△					○	○	ScS2D-5MAAn073	○	
	解析学Ⅰ	4			△					○	○	ScS2D-5MAAn014	○	
	解析学Ⅱ	2					△					ScS3D-5MAAn022		
「確率論、統計学」	解析学Ⅲ	2					△					ScS3D-5MAAn032		
	現象の数理Ⅰ	2					△					ScS3D-5MAAn042		
	現象の数理Ⅱ	2					△					ScS3D-5MAAn082		
	確率統計学Ⅰ	4			△					○	○	ScS2D-5MPS014	○	
コンピュータ	確率統計学Ⅱ	3			△					○	○	ScS2D-5MPS023	○	
	確率統計学Ⅲ	2				△						ScS3D-5MPS023		
	数理情報処理Ⅰ	2			△					○	○	ScS2D-5MAp012	○	
	数理情報処理Ⅱ	2				△				○	○	ScS2D-5MAp022	○	
	数理情報処理Ⅲ	2					△					ScS3D-5MPS082		
	数理情報処理Ⅳ	2						△				ScS3D-5MPS092		
数理応用Ⅰ	2						△				ScS3D-5MPS102			

※各科目区分で○の科目を1科目以上修得する。

*ラーニング・ログ：各科目区分で○の科目を1科目以上含み、中一種12単位以上、高一種16単位以上の作成が必要。

1 教育方針・教育体制
 2 授業科目の履修と単位認定
 3 カリキュラムと授業科目
 数理学
 物理コース
 化学コース
 生物学コース
 地学コース
 4 資格の取得
 5 早期卒業制度
 6 留学・フェロウィヤ
 7 進路変更・休学・退学
 8 コミュニケーション
 9 資料

表4-5B 理科の教科に関する科目

中一種免取得の場合は、表4-2「教科及び教科の指導法に関する科目」28単位として、表4-4「教科の指導法に関する科目」8単位、表4-5B「理科の教科に関する科目」20単位以上を修得する必要があります。加えて、表4-2「大学が独自に設定する科目」3単位として、表4-5B「理科の教科に関する科目」3単位以上修得する必要があります。そのため、表4-5B「理科の教科に関する科目」から合計23単位以上修得する必要があります。

高一種免取得の場合は、表4-2「教科及び教科の指導法に関する科目」24単位として、表4-4「教科の指導法に関する科目」4単位、表4-5B「理科の教科に関する科目」20単位以上を修得する必要があります。加えて、表4-2「大学が独自に設定する科目」11単位として、表4-4「教職に関する科目」及び表4-5B「理科の教科に関する科目」の修得が必要な単位数を超えて修得した単位を充てるので注意してください。

区分	科目名	単位数	開講学年・クォーター								中一種	高一種	科目コード	ラーニングログ*
			1年		2年		3年		4年					
			前	後	前	後	前	後	前	後				
物理学	物理学Ⅰ	2	○								○	○	ScS1A-5PBa012	○
	物理学Ⅱ	2		○							○	○	ScS1A-5PBa022	○
	力学Ⅰ	2		4									ScS1D-5PMe-012	
	電磁気学Ⅰ	2		4									ScS1D-5PEm-012	
	力学Ⅱ	2			1								ScS2D-5PMe-022	
	電磁気学Ⅱ	2			1								ScS2D-5PEm-022	
	力学Ⅲ	2			2								ScS2D-5PMe-032	
	電磁気学Ⅲ	2			2								ScS2D-5PEm-032	
	物理数学Ⅰ	2			○								ScS2D-5PPM-012	
	熱統計力学Ⅰ	2				3							ScS2D-5PTs-012	
	電磁気学Ⅳ	2				3							ScS2D-5PEm-042	
	力学Ⅳ	2				3							ScS2D-5PMe-042	
	物理実験学	1				3							ScS2D-5PES-021	
	熱統計力学Ⅱ	2				4							ScS2D-5PTs-022	
	電磁気学Ⅴ	2				4							ScS2D-5PEm-052	
	力学Ⅴ	2				4							ScS2D-5PMe-052	
	物理数学Ⅱ	2				○							ScS2D-5PPM-022	
熱統計力学Ⅲ	2					1						ScS3D-5PTs-032		
量子力学Ⅰ	2					1						ScS3D-5PQM-012		
化学	化学Ⅰ	1	1	3							◎	◎	ScS1A-5CBa011	○
	化学Ⅱ	1	2	4							◎	◎	ScS1A-5CBa021	○
	化学Ⅲ	1		3							○	○	ScS1A-5CBa031	○
	化学Ⅳ	1		4							○	○	ScS1A-5CBa041	○
	物理化学Ⅰ	1		4									ScS1D-5CPh011	
	有機化学Ⅰ	1		4									ScS1D-5COr011	
	分析化学Ⅰ	1		4									ScS1D-5CAn011	
	無機化学Ⅰ	2			○								ScS2D-5Clb012	
	量子化学Ⅰ	2			○								ScS2D-5CQc012	
	生物化学基礎Ⅱ	1			2								ScS2D-5CBI021	
	機器分析Ⅰ	1			1								ScS2D-5CAn051	
	物理化学Ⅱ	2			○								ScS2D-5CPh022	
	有機化学Ⅱ	2			○								ScS2D-5COr022	
	分析化学Ⅱ	1			1								ScS2D-5CAn021	
	分析化学Ⅲ	1			2								ScS2D-5CAn031	
	無機化学Ⅱ	2				○							ScS2D-5Clb022	
	量子化学Ⅱ	2				○							ScS2D-5CQc022	
	生物化学Ⅰ	2				○							ScS2D-5CBI032	
	物理化学Ⅲ	1				3							ScS2D-5CPh031	
	物理化学Ⅳ	1				4							ScS2D-5CPh041	
	有機化学Ⅲ	2				○							ScS2D-5COr032	
	環境化学	2				○							ScS2D-5CEo012	
	機器分析Ⅱ	1				3							ScS2D-5CAn061	
機器分析Ⅲ	1				4							ScS2D-5CAn071		
機器分析Ⅳ	1					1						ScS3D-5CAn081		
有機化学Ⅳ	2					○						ScS3D-5COr042		
生物化学Ⅱ	2					○						ScS3D-5CBI042		

生物学	生物学Ⅰ	2	○					○	○	ScS1A-5BBa012	○
	生物学Ⅱ	2		○				○	○	ScS1A-5BBa022	○
	細胞学	2			○					ScS2D-5BCD-012	
	発生学	2			○					ScS2D-5BCD-022	
	植物形態学	2			○					ScS2D-5BMo-012	
	生態学	2			○					ScS2D-5BEE-012	
	生物化学基礎Ⅰ	1			1					ScS2D-5BBM-011	
	分類学	2				○				ScS2D-5BMo-022	
	形態形成論	2				○				ScS2D-5BCD-032	
	分子遺伝学	2					○			ScS3D-5BBM-042	
	進化神経学	2						○		ScS3D-5BMo-042	
	行動生態学	2						○		ScS3D-5BEE-042	
	環境毒性学	2						○		ScS3D-5BEE-062	
地学	地学Ⅰ	2	○					○	○	ScS1A-5EBa012	○
	地学Ⅱ	2		○				○	○	ScS1A-5EBa022	○
	最新地球惑星科学	2		4						ScS1D-5EBa-022	
	地質学概論	2			○					ScS2D-5EGL-012	
	鉱物学概論	2			○					ScS2D-5EPM-012	
	岩石学概論	2			1					ScS2D-5EPM-022	
	固体地球物理学概論	2			○					ScS2D-5EGP-012	
	海洋学概論	2			○					ScS2D-5EOC-012	
	岩石学	2				○				ScS2D-5EPM-032	
	鉱物学	2				○				ScS2D-5EPM-042	
	地層学	2				△				ScS2D-5EGL-022	
	固体地球物理学	2				○				ScS2D-5EGP-022	
	海洋物理学Ⅰ	2				○				ScS2D-5EOC-022	
	情報地球科学	2					○			ScS3D-5EGP-032	
	地球内部構造論	2					○			ScS3D-5EGP-042	
	古生物学	2					○			ScS3D-5EGL-032	
	海洋物理学Ⅱ	2					○			ScS3D-5EOC-032	
沿岸海洋学	2						○		ScS3D-5EOC-042		
地球化学	2						3		ScS3D-5EPM-052		
実験	基礎物理学実験	1			1,2			◎	○	ScS2A-5PES011	○
	基礎化学実験	1			2	3		◎	○	ScS2A-5CES011	○
	基礎生物学実験	1			1,2			◎	○	ScS2A-5BES011	○
	基礎地学実験	1			1,2			◎	○	ScS2A-5EES011	○

※◎の科目は必修。各科目区分で○の科目を1科目以上修得する。

*ラーニング・ログ：各科目区分で○の科目を1科目以上含み、中一種12単位以上、高一種16単位以上の作成が必要。

(1) 介護等体験（【中学校教諭一種免許状】に必要：単位無し）

【中学校教諭一種免許状】を取得するためには、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」（介護等体験特例法）で規定された介護等の体験を有する必要があります。これは、義務教育に従事する教員が個人の尊厳および社会連帯について認識を深めることをめざして実施されるものです。

介護等体験は、大学の定める実施施設（特別支援学校、社会福祉施設、その他の施設）において7日間以上実施され、社会福祉施設等で4日間、特別支援学校で3日間の体験が標準となっています。介護等体験では、障害者、高齢者等に対する介護、介助のほか、これらの人たちの話し相手、散歩の付き添い、掃除や洗濯などを体験します。

介護等体験は、3年次の授業期間中に随時実施されます。ガイダンス（2年次1月頃）・事前指導を必ず受講し、体験時には礼節に従い行動してください。体験の時期が決定したら、「正当な理由による欠席」の「授業欠席届」を授業担当教員に提出してください。実施後は、プラクティス・ログの作成が必要です。

(2) 教職実践演習（4年後学期・2単位）